



泉水山

真庭市立河内小学校だより

R7年度 第9号

令和7年6月25日(水)発行

5年生「山の学校」

6月12日(木)13日(金)と5年生が津黒高原に「山の学校」に行ってきました。2日間とも好天に恵まれ、計画していた全ての活動を予定通り実施し、充実した時間を過ごして来ました。

冒険の森

「冒険の森」では、最初は恐る恐るジップライン(ワイヤーと滑車を使って高い木の上から下に滑っていく遊び)をしていましたが、慣れるにしたがってどんどん進むことができるようになりました。最後には「夏休みにまた来ようや!」という声も聞かれました。



森の学習

午後からの「森の活動」では、森に入って活動する上で気をつけておくべき植物や昆虫などについて説明を受けた後、実物のモリアオガエルを見ながら生態について、学ぶことができました。



カレー作り

夕食のカレー作りでは、みんなで協力して美味しいカレーを作ることができました。慣れた様子で包丁を扱う姿や、最後まで根気よく鍋や飯ごうを洗う姿など、普段の学校生活では見られない姿も発見することができました。



水辺の学習

水辺の学習では、施設の職員の方にレクチャーを受けながら、津黒川に入って、生き物を捕まえる体験をしました。その後、職員の方が水槽に移した生き物について解説をしてくださいました。オニヤンマの幼虫は成虫と全く違う姿をしていることに驚いていました。魚だけではなく、様々な生き物がそこで暮らしていることが分かりました。



ペンダントづくり

昼食後、最後の活動は、ペンダントづくりです。木を輪切りにした丸い形の板をベースに、木の実や葉っぱをボンドで接着して、思い思いの作品作りをしました。

小さい枝を接着するのに苦労する姿も見られましたが、完成した時の喜びはひとしおのようでした。



たくさんのことを学んだ「人権ふれあいスポーツ交流会」

6月16日(月)、「岡山シーガルズ」から4名のスクールコーチと選手の方が来校してくださり、「人権ふれあいスポーツ交流会」を開催しました。「岡山シーガルズ」は岡山を拠点として活躍するプロのバレーボールチームです。

最初に、サーブやスパイクなどのプロの技を見せていただいた後、代表児童3名がレシーブ体験に挑戦しました。選手からの勢いのあるサーブに果敢に挑む姿に、大きな拍手と歓声がおくられていました。

その後、全校児童が4チームに分かれ、選手とともにパスやレシーブの練習をしました。「円陣パス」は、なかなか難しそうでしたが、ミスした人に「大丈夫」と声をかけたり、カバーをしたりする場面もたくさんあり、みんなとても良い表情で取り組んでいました。

最後に、コーチや選手の方々から、「思いやりの大切さ」や「感謝の気持ちをもつこと」、「困っている人には“大丈夫?”と声をかけてあげてほしい」「自分を大切にすること」等、人権に関わって大切だと考えていることについて、お話をしてくださいました。締めくくりのお礼のあいさつは、6年生の青木眞奈美さんと渡邊希さんが務めてくれました。楽しく活動しつつ、人権について深く学べた時間となりました。



エスパス「岡フィル」コンサート

6月17日(火)、エスパスホールで行われた「岡山フィルハーモニック管弦楽団」によるプレゼントコンサートに全校で行ってきました。湯原小、天津小、美川小のお友だちと一緒に、聴きました。

人気グループの楽曲や、アニメ映画のテーマ曲などを演奏してくださり、みんな喜んで耳を傾けたり手拍子をしたりしていました。

各校の6年生の中から代表1名ずつの「指揮者体験」には、田中悠翔君が挑戦して堂々と指揮棒を振り、会場から大きな拍手をおくられていました。



3・4年生「粒間引き&袋かけ体験」

社会科の学習で、3年生は真庭市の、4年生は県内の特色ある産業の1つとして「ぶどう作り」について学んでいます。この度、学区内でぶどう栽培をされておられる方から、「粒間引き」と「袋かけ」体験のお誘いをいただき、子どもたちと行ってきました。

子どもたちは粒間引きのやり方を見せていただくと、早速1つ1つ慎重に粒を落としていました。1人2房摘み終わると、袋かけをしました。

その後も、子どもたちからのたくさんの質問に答えてくださり、充実した学習をさせていただくことができました。秋には収穫体験をさせていただく予定です。

